

学校経営構想 **グランドデザイン**

めざす学校像

- ・郷土を誇りに学びの真道を求める学校
 - ・一人ひとりが毎日楽しく過ごせる学校
- 「学びの真道」＝「生きる力」

- ・関係法令
- ・小学校学習指導要領
- ・南アルプス市立小中学校管理運営に関する規則
- ・山梨県学校教育指導重点
- ・南アルプス市学校教育指導重点

- ・南アルプス市の環境
- ・落合地区の環境
- ・子どもの状況
- ・子どもの願い
- ・保護者の願い
- ・学校関係者の願い
- ・地区の皆様の願い

落合小学校の教育目標

- 心豊かでたくましく よく学ぶ児童の育成
(かしこく やさしく たくましい落合小児童の育成)
- よく考え進んで学ぶ子ども (かしこく)
 - 思いやりの心を持ち、助け合う子ども (やさしく)
 - 心身を鍛え最後までやりぬく子ども (たくましく)

学校経営の方針

- 調和のとれた教育課程を編成し、各担当の工夫により「児童の状況に合致した授業」として展開していく。
- 全職員の協働、家庭・地域・関係機関との連携により教育目標の達成をめざす。

めざす教職員像

- 服務規律を遵守し、社会人として地域社会でも信頼される学校職員
- 専門性を常に磨き、一定水準以上の技能を獲得している学校職員
- 組織の一員として連携しながら業務を遂行できる学校職員
- 師弟同行、率先垂範できる学校職員

めざす子ども像 **かしこく やさしく たくましい落合小児童**

- よく考え進んで学ぶ子ども (かしこく)
 - 進んで取り組む子**
 - ・意欲的に学ぶ子ども
 - ・よく考えて行動する子ども
 - ・自分の考えをきちんと発表できる子ども
 - 話を聴ける子**
 - ・話を最後まできちんと聴ける子ども
 - ・ルールを守る子ども
 - ・けじめがつけられる子ども
- 思いやりの心を持ち、助け合う子ども (やさしく)
 - あいさつできる子**
 - ・自分からあいさつできる子ども
 - ・「ありがとう」「ごめんなさい」が素直に言える子ども
 - 人の気持ちがわかる子**
 - ・思いやりの心で行動できる子ども
 - ・仲間と協力し、助け合う子ども (特に清掃)
- 心身を鍛え最後までやりぬく子ども (たくましく)
 - 最後までやりぬく子**
 - ・心も体もたくましい子ども
 - ・始めたことを粘り強くやりぬく子ども

取組重点 落合小学校の状況をふまえた教育活動 (特色ある教育)

①どの子どもにとっても分かりやすい授業をめざし、基礎基本の「習得」とそれらを「活用」して「思考力・判断力・表現力」の育成を図る (特にすべての学習の基盤となる読み・書き・計算力の確実な定着を図る)。

②学校生活全般において (特に授業の中で) 積極的な生徒指導を行い、いじめ・不登校のない学級・学校を目指す。

③インクルーシブ教育システムの理念をふまえ、特別支援教育推進に向け校内支援体制の一層の充実を図る。また、ノーマライゼーションの考えを育むように努める。

④「落合小生活のきまり」「落合小学習のきまり」を学校生活の基とする。また、児童会で作ったルール「落合小こびとルール 2015」に全員で取り組む。

⑤読書習慣、辞書利用習慣、家庭学習習慣を含めた学習習慣を育成する。特に、学習の仕方を身につけさせ、学習に主体的に取り組む力を高める。

⑥生涯を通じて健康な生活を送るために必要な食習慣、衛生習慣、運動習慣を育成する。

⑦児童会活動を通して、より良い学校生活づくりのために協力して諸問題を解決していく力を育成する。

⑧「地域ふれあい道德事業」「小笠原流礼法を活かした心の教育推進事業」に取り組み、場こふさわしい行動・あいさつができるようにする。

⑨安全教育・安全管理を計画的に行い、「自分の身は自分で守る」ことができる力を育てる。

⑩情報を積極的に発信・受信して家庭・地域・関係機関との連携を深め「開かれた学校づくり」を推進する。

取組重点を達成するための取組

①「チャレンジテスト」(年5回)で全員に90点以上を獲得させる・このことを目標とした学力向上のための授業改善

②生徒指導の機能(自己存在感の確立・共感的な人間関係の育成・自己決定の場の設定)を活かした授業づくり

③個に応じ特性に対応した指導 ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり

④毎月の生活目標の取組

⑤辞書利用の推進 朝読書・「読書の記録」・「家庭学習の手引き」の活用

⑥「水泳カード」「縄跳びカード」の活用 手洗い・うがい・歯磨きの推進 早寝・早起き・朝ごはんの呼びかけ

⑦縦割り班活動・委員会活動の工夫

⑧あいさつ運動 地域教材・小笠原流礼法の活用

⑨生活・交通・災害についての安全学習・安全指導の徹底 (自転車乗車時のヘルメット着用100%をめざす)

⑩学級だより・連絡帳・学校だよりの活用 PTA・「学校応援団(仮称)」との連携

重点的に取り組む行事: 運動会 文化発表会

<p>教科</p> <p>基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育成する。</p>	<p>道徳</p> <p>基本的生活習慣や社会生活上のルール、マナーなどを身につけさせ、仲間を認める思いやりの心や善悪の判断力をはぐくむ。</p>	<p>外国語活動</p> <p>外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。</p>	<p>総合的な学習の時間</p> <p>課題解決的な学習や探究活動を通して、自ら考え、主体的に問題を解決する資質や能力をはぐくむ。</p>	<p>特別活動</p> <p>集団の一員として生活できる自主的、実践的な態度を育て、自己の生き方について考える力を育成する。</p>
---	--	--	--	---

<p>学級・学年経営</p> <p>安定した学級生活や学習活動ができるように学級の仕組みを整える。積極的な生徒指導により教師と児童、児童相互の好ましい人間関係を育む。</p>	<p>目標 (各教科等)</p> <p>家庭・地域・関係機関との連携、職員の協働により目標の達成をめざす。</p>	<p>学習環境</p> <p>ユニバーサルデザイン(できるだけ多くの人が利用可能なデザイン)の視点を取り入れた「どの子どもにとっても過ごしやすい学習環境づくり(言語環境を含む)」をめざす。</p>
--	--	---